



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東  
 コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 信悟  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO経営企画本部長 (氏名) 大井 潤 (TEL) 03(6758) 7200  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	99,130	△3.7	15,565	△38.5	32,566	6.7	26,940	17.9	26,666	21.6	16,987	△67.8
2021年3月期第3四半期	102,924	12.9	25,320	—	30,513	—	22,847	—	21,937	—	52,779	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	223.69	223.45
2021年3月期第3四半期	177.35	177.11

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	321,379	232,913	228,383	71.1
2021年3月期	327,121	228,659	223,711	68.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 2022年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、営業減益となる見込みであります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 、 除外 一社

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	130,210,945株	2021年3月期	130,210,945株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	11,674,919株	2021年3月期	8,152,593株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	119,210,503株	2021年3月期3Q	123,694,535株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2022年3月期3Q:191,158株、2021年3月期:199,619株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- (2) 配当予想金額に関して

2022年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

- (3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2022年2月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記 .....	11
① 追加情報 .....	11
② セグメント情報 .....	11
③ 1株当たり利益 .....	13
④ その他の収益 .....	14
⑤ 持分法で会計処理している投資 .....	14
⑥ 重要な後発事象 .....	14

## 1. 経営成績・財政状態の概況

### (1) 経営成績の概況

当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、エンターテインメント領域と社会課題領域の2つの領域の特徴を活かした収益基盤の形成、および、両領域のシナジー形成を含めたIT企業の新しい進化の体現、また、一層強い事業ポートフォリオ実現に向けた非連続な成長のための挑戦に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)において、売上収益は、ライブストーリーミング事業の成長や、前年同期と比したスポーツ事業の回復があったものの、主にゲーム事業の減収により、前年同期比で減収となりました。

売上原価については、ライブストーリーミング事業やゲーム事業の推移等に応じて変動する支払手数料等が、主にライブストーリーミング事業の成長に伴い増加し、前年同期比で増加いたしました。

販売費及び一般管理費の前年同期比で横ばいとなりました。

その他の収益・費用(純額)は、6,585百万円の利益と、前年同期の10,000百万円の利益から減少しております。当第3四半期連結累計期間につきましては、株式会社IRIAMの全株式を取得したことによる、段階取得に係る差益2,273百万円や、主に株式会社横浜DeNAベイスターズの営業休止に伴う損失補償金2,090百万円等をその他の収益に計上しております。一方で、前年同期には、タクシー配車アプリ等に関する事業の吸収分割に起因する移転損益2,045百万円やSHOWROOM株式会社の当社保有株式の一部譲渡に伴う子会社株式売却益7,889百万円等を計上いたしました。

持分法による投資利益は、13,098百万円(前年同期比1,032.4%増)となりました。当第3四半期連結累計期間においては、主な持分法適用関連会社である株式会社Cygamesや株式会社Mobility Technologiesの業績動向のほか、当該期間中に行った株式会社Mobility Technologiesにおける第三者割当増資による一時収益の計上が影響いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は99,130百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は15,565百万円(同38.5%減)、税引前四半期利益は32,566百万円(同6.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は26,666百万円(同21.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は56,003百万円(前年同期比18.1%減)、セグメント利益は8,531百万円(同41.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少し、前年同期比で減収減益となりました。収益基盤の強化に向けては、新規タイトルのリリースに加え、引き続き、費用構造の筋肉質化や固定費の最適化を図りました。

#### ② スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は12,264百万円(前年同期比12.9%増)、セグメント損失は579百万円(前年同期は1,495百万円の損失)となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、昨シーズンのプロ野球の公式戦は、例年より遅い、2020年6月19日からの開幕となり、当初は無観客での試合開催となる等の影響がありましたが、今シーズンは、2021年3月26日に例年通り開幕し、観客動員の制約等の感染症対策は引き続き要したものの、前年同期比で業績が回復いたしました。

#### ③ ライブストーリーミング事業

ライブストーリーミング事業の売上収益は25,689百万円(前年同期比46.8%増)、セグメント利益は3,472百万円(同9.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」が引き続き堅調に推移したほか、「IRIAM(イリアム)」をはじめとした、ジャンルの多様化を伴った市場の成長・発展を見据えた新たなジャンルへの挑戦や、「Pococha」のグローバル版の取り組みも進捗いたしました。また、それぞれの分野で市場成長機会を捉えるべく、成長投資を積極的に行いました。

なお、2021年8月2日には、キャラクターの姿でライブ配信を楽しめる「IRIAM」を運営する株式会社IRIAMが

100%子会社となりました。また、SHOWROOM株式会社の業績は、2020年6月30日を期日とした同社の当社保有株式の一部譲渡により、当社の持分法適用関連会社となっており、前第2四半期連結会計期間よりセグメント別の業績には含んでおりません。

#### ④ヘルスケア事業

ヘルスケア事業の売上収益は2,134百万円（前年同期比41.4%増）、セグメント損失は421百万円（前年同期は943百万円の損失）となりました。

「kencom（ケンコム）」をはじめとするヘルスケアサービスの分野が堅調に推移し、将来に向けた先行投資を行いつつも、当第3四半期連結会計期間には、当該セグメントは黒字となりました。

なお、「歩いておトク」は、2021年4月30日にサービスが終了しております。また、2021年9月1日には、認知症関連サービスを有する日本テクトシステムズ株式会社を株式交換により100%子会社としました。

#### ⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は3,090百万円（前年同期比37.6%減）、セグメント損失は116百万円（前年同期は187百万円の損失）となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

### (2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

#### ①財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は321,379百万円（前連結会計年度末比5,742百万円減）となりました。

流動資産は102,446百万円（同27,441百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び現金同等物が19,940百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は218,933百万円（同21,699百万円増）となりました。主な増加要因はのれんが11,568百万円増加したこと及び持分法で会計処理している投資が13,608百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は88,466百万円（同9,996百万円減）となりました。

流動負債は28,287百万円（同12,688百万円減）となりました。主な減少要因はその他の流動負債が6,504百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は60,179百万円（同2,692百万円増）となりました。主な増加要因はリース負債が2,378百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は232,913百万円（同4,254百万円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が22,384百万円増加したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第3四半期連結会計期間末において流動比率362.2%、親会社所有者帰属持分比率71.1%となっております。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19,940百万円減少し、77,362百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は14,780百万円（前年同期は22,421百万円の収入）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益32,566百万円であります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は16,670百万円（前年同期は6,996百万円の支出）となりました。主な支出要因は子会社又はその他の事業の取得による支出11,526百万円であります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は18,378百万円（前年同期は10,216百万円の収入）となりました。主な支出要因は自己株式の取得のための支出10,868百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、営業減益となる見込みであります。

その背景、及び、各事業の動向等につきましては、2021年5月7日に公表しました「2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	97,301	77,362
売掛金及びその他の短期債権	27,174	19,419
その他の短期金融資産	1,011	1,093
その他の流動資産	4,400	4,572
流動資産合計	129,887	102,446
非流動資産		
有形固定資産	2,301	2,217
使用権資産	16,747	19,065
のれん	5,883	17,451
無形資産	6,055	15,903
持分法で会計処理している投資	41,024	54,632
その他の長期金融資産	124,003	108,492
繰延税金資産	986	767
その他の非流動資産	236	406
非流動資産合計	197,235	218,933
資産合計	327,121	321,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	20,044	16,262
リース負債	2,653	1,644
未払法人所得税	1,364	2,364
引当金	4,449	1,714
その他の短期金融負債	526	868
その他の流動負債	11,940	5,436
流動負債合計	40,976	28,287
非流動負債		
借入金	20,000	20,158
リース負債	4,485	6,863
引当金	72	158
その他の長期金融負債	401	329
繰延税金負債	32,174	32,259
その他の非流動負債	354	412
非流動負債合計	57,487	60,179
負債合計	98,463	88,466
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	16,282	16,074
利益剰余金	151,747	174,131
自己株式	△15,061	△22,819
その他の資本の構成要素	60,346	50,600
親会社の所有者に帰属する持分合計	223,711	228,383
非支配持分	4,948	4,530
資本合計	228,659	232,913
負債及び資本合計	327,121	321,379

## (2) 要約四半期連結損益計算書

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	102,924	99,130
売上原価	△45,778	△48,359
売上総利益	57,145	50,770
販売費及び一般管理費	△41,826	△41,790
その他の収益	11,080	7,014
その他の費用	△1,080	△429
営業利益	25,320	15,565
金融収益	4,152	4,562
金融費用	△115	△660
持分法による投資利益	1,157	13,098
税引前四半期利益	30,513	32,566
法人所得税費用	△7,666	△5,625
四半期利益	22,847	26,940
以下に帰属する四半期利益		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	21,937	26,666
四半期利益：非支配持分に帰属	910	274
合計	22,847	26,940
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	177.35	223.69
希薄化後1株当たり四半期利益	177.11	223.45

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	22,847	26,940
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	30,014	△9,798
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	30,014	△9,798
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△82	△65
その他	0	△89
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	△82	△155
その他の包括利益(税引後)	29,932	△9,953
四半期包括利益合計	52,779	16,987
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	51,553	16,714
四半期包括利益：非支配持分に帰属	1,226	274
合計	52,779	16,987

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	10,397	15,237	163,564	△45,139	36,428	180,486	6,833	187,319
四半期利益	—	—	21,937	—	—	21,937	910	22,847
その他の包括利益	—	—	—	—	29,616	29,616	316	29,932
四半期包括利益合計	—	—	21,937	—	29,616	51,553	1,226	52,779
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△2,510	—	—	△2,510	△1,076	△3,586
自己株式取引による増加(減少)	—	△57	—	△2,405	—	△2,462	—	△2,462
自己株式の消却	—	△35,616	—	35,616	—	—	—	—
株式報酬取引による増加(減少)	—	31	—	—	40	71	—	71
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	35,634	△35,634	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	617	—	—	—	617	665	1,282
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△52	△52	△2,925	△2,977
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	416	698	—	△941	173	352	525
2020年12月31日残高	10,397	16,263	148,054	△11,928	65,091	227,876	5,074	232,950

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	10,397	16,282	151,747	△15,061	60,346	223,711	4,948	228,659
四半期利益	—	—	26,666	—	—	26,666	274	26,940
その他の包括利益	—	—	—	—	△9,953	△9,953	△1	△9,953
四半期包括利益合計	—	—	26,666	—	△9,953	16,714	274	16,987
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△3,906	—	—	△3,906	△661	△4,567
自己株式取引による増加(減少)	—	△90	—	△10,589	△201	△10,880	—	△10,880
株式交換による変動	—	6	—	2,831	—	2,837	—	2,837
株式報酬取引による増加(減少)	—	27	—	—	104	131	—	131
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	57	△57	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	△208	—	—	—	△208	512	304
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	△615	△615
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	0	△319	—	304	△16	72	56
2021年12月31日残高	10,397	16,074	174,131	△22,819	50,600	228,383	4,530	232,913

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	30,513	32,566
減価償却費及び償却費	4,096	4,148
事業分離における移転利益	△2,045	△197
関係会社株式売却益	△7,889	△1,286
減損損失	904	299
受取利息及び受取配当金	△2,918	△3,717
支払利息	56	65
持分法による投資損益(△は益)	△1,157	△13,098
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△2,273
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	1,113	7,809
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△313	△4,094
前受金の増減額(△は減少)	△1,288	△5,576
その他	△1,445	△1,764
小計	19,627	12,881
配当金受取額	2,899	3,697
利息支払額	△54	△51
利息受取額	21	22
法人所得税支払額	△837	△1,922
法人所得税還付額	765	153
営業活動による正味キャッシュ・フロー	22,421	14,780
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
子会社又はその他の事業の取得による収入	—	232
子会社又はその他の事業の取得による支出	—	△11,526
子会社又はその他の事業の売却による収入	45	1,074
子会社又はその他の事業の売却による支出	△191	△1,037
関連会社株式の取得のための支出	△950	△309
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,581	72
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△2,944	△3,226
有形固定資産の取得	△3,397	△330
無形資産の取得	△4,127	△4,233
資産除去債務の履行による支出	—	△1,818
敷金及び保証金の回収による収入	19	4,207
その他	△33	225
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△6,996	△16,670
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入	20,000	—
借入金の返済	△3,000	△9
リース負債の返済	△2,144	△2,953
配当金支払額	△2,511	△3,906
非支配持分からの払込による収入	1,282	—
非支配株主への配当金支払額	△979	△661
自己株式の処分による収入	13	20
自己株式の取得のための支出	△2,445	△10,868
財務活動による正味キャッシュ・フロー	10,216	△18,378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,640	△20,268
現金及び現金同等物の期首残高	73,536	97,301
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△514	328
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,374	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,288	77,362

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 要約四半期連結財務諸表注記

## ① 追加情報

(重要な会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の「連結財務諸表注記 10. のれん」に記載した、新型コロナウイルス感染症の拡大によるプロ野球事業への影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

## ② セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「スポーツ事業」、「ライブストリーミング事業」、「ヘルスケア事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
ヘルスケア事業	ヘルスケア関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「kencom（ケンコム）」、「MYCODE（マイコード）」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： EC事業、IP創出プラットフォーム事業（注）、その他の新規事業等

(注) IP創出プラットフォーム事業に属する「エブリスタ」を運営していた株式会社エブリスタの全保有株式を、2021年12月14日付で株式会社メディアドゥに譲渡いたしました。

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、2021年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

## 前第3四半期連結累計期間

(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	スポーツ 事業	ライブスト リーミング 事業(注) 2	ヘルスケア 事業	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	68,342	10,762	17,499	1,510	4,811	—	102,924
セグメント間の売上収益	7	99	—	0	143	△249	—
計	68,350	10,861	17,499	1,510	4,954	△249	102,924
セグメント利益(損失)(注) 1	14,549	△1,495	3,833	△943	△187	△438	15,319
その他の収益・費用(純額)							10,000
営業利益							25,320
金融収益・費用(純額)							4,037
持分法による投資利益							1,157
税引前四半期利益							30,513

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「ライブストリーミング事業」に属する「SHOWROOM(ショールーム)」を運営するSHOWROOM株式会社の一部株式を、2020年6月30日付で譲渡し、同社に対する支配を喪失したことから、同社は当社の持分法適用関連会社となっております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 当第3四半期連結累計期間

(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	スポーツ事業	ライブストリーミング事業 (注) 2	ヘルスケア事業	新規事業・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	55,991	12,238	25,689	2,134	3,077	—	99,130
セグメント間の売上収益	13	26	—	—	13	△51	—
計	56,003	12,264	25,689	2,134	3,090	△51	99,130
セグメント利益(損失) (注) 1	8,531	△579	3,472	△421	△116	△1,907	8,981
その他の収益・費用(純額)							6,585
営業利益							15,565
金融収益・費用(純額)							3,902
持分法による投資利益							13,098
税引前四半期利益							32,566

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 2021年8月2日付で、「IRIAM(イリアム)」を運営する株式会社IRIAMの全株式を取得し、同社は当社の連結子会社となったため、当該サービスを第2四半期連結累計期間より「ライブストリーミング事業」に含めております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。なお、IP創出プラットフォーム事業に属する「エブリスタ」を運営していた株式会社エブリスタの全保有株式を、2021年12月14日付で株式会社メディアドゥに譲渡いたしました。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	21,937	26,666
基本的期中平均普通株式数 (株)	123,694,535	119,210,503
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	170,180	128,617
希薄化後の期中平均普通株式数	123,864,715	119,339,120
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	177.35	223.69
希薄化後1株当たり四半期利益	177.11	223.45

④ その他の収益

当第3四半期連結累計期間において、主に株式会社横浜DeNAベイスターズで営業休止に伴う損失補償金を受け取り、要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に、2,090百万円を計上しております。

⑤ 持分法で会計処理している投資

当社の持分法適用関連会社である株式会社Mobility Technologies（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島宏）は、第1四半期連結会計期間において、第三者割当増資を行いました。これにより当社の同社に対する持分が変動し、当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において「持分法による投資利益」に4,368百万円を計上しております。

⑥ 重要な後発事象

該当事項はありません。